

保 育 目 標

「健康な体と豊かな心を育む」

- ・「進んで自分のことをする力」を持つ子ども
- ・「自分の思いが言え、聴ける力」を持つ子ども
- ・「夢中になってやってみようとする力」を持つ子ども

保育所は、子どもたちにとって安心して自分を出せる場所でありたいと思います。自分を出した時に受け止めてくれたり、寄り添ってくれたりする人がいることで安心感を持ちます。そして人に対する信頼感が芽生え、自分で考え進んで行動する気持ちが育ちます。

私たち保育士は、毎日のしっかり組み立てられた生活と子どもの発達に配慮された五感を十分使ったあそび、「楽しみながら集中する・夢中になる」環境の工夫が大切だと思っています。子どもたちが様々な遊びを通して、まずは自分自身が満足いくまで楽しみ、次は友だちと協力したり、我慢したり、譲り合ったり、競争したりしていろいろな関わりの中で、お互いを理解し合いながら良い人間関係を作ってほしいと願っています。

子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の幸福のために、保護者や地域の方々の協力を得て、子どもたちの視点に立った保育を行い、子どもたちの笑顔がいっぱいの保育所をめざしています。